

東京福祉大学の

学生、保護者、教職員に訴えます！

文科省から、大学の経営と教育に関与することを禁じられた「外部の人間」中島恒雄元理事長が、「授業見学」の名の下に、授業に姿を見せ、授業の妨害、指導の押しつけ、教員への批判を繰り返す異常な事態が、今現在起きています。

大学に籍を持たず、権限もない「外部の人間」が、なぜ授業に顔を出し、教員の授業の進め方に口を挟み、妨害し、教員を叱責、批判できるのでしょうか。

大学の教育の自由が侵されています。

また、中島恒雄元理事長の意を受けた大学執行部は、大学の学則に反して、学生、保護者に十分な説明のないまま、年度途中で、一方的にキャリア教育授業のコマ数を増やし、学生の履修登録を混乱させ、学生たちを苦しめています。

これはあってはならないことです。

「外部の人間」が、大学の教育に

圧力を加え支配している！

中島恒雄氏及び大学執行部は、自分たちに異を唱える教職員に対してパワハラ（学生の面前で激しい叱責・罵倒）を行うなど、学生・教職員に精神的な苦痛を与えた上、一部職員を辞職に追い込んでいる、との有力な情報があります。すなわち、中島恒雄氏の指示による組織ぐるみのパワハラ行為によって、5月には、大学の要職にある教職課程支援室長が退職し、8月には、就職支援室長が退職している、とのこと。これらは許されてはならないことです。

大学当局には、こうした事態を学生、保護者、大学教職員にきちんと説明する責任があります。

また10月10日に池袋キャンパス9号館前で、10月12日に本庄駅前で、チラシ配布を行ったところ、学生さんから、次のようなメールが寄せられています。

「元総長 中島恒雄の横柄な態度と違反については強い憤りを感じています。本日も元総長が授業を妨害してきました。…（教育学部3年生）」「金曜日の一限のみの授業だった所を勝手にキャリアの講義を入れられました。しかも6限にです。…11月20日の口頭弁論は一般公開されているのでしょうか。興味があるので、開催される場所など教えていただけないのでしょうか。（匿名）」

学生・教職員の皆さんからの情報提供をお待ちしています。

2018年11月14日 交通ユニオン